

“新しい公共”を担う 「協働のまちづくり」が スタートしました！



市では、多様化する地域の課題や市民のニーズにこたえるため、NPO法人、ボランティア団体などの市民活動団体と行政とが、また市民活動団体同士がお互いの特徴を生かしながら、協力・連携して市民主体のまちづくりを進める「協働」を推進しています。

市民活動団体から、総合計画に掲げたまちづくりの施策に関連した提案を募集し、その提案をした団体に市が事業を委託したり、補助したりする「協働まちづくり」事業。市民と行政とが担う「新しい公共」、15事業を紹介します。

問④ 地域振興課協働共生推進係 ☎44-3116

「協働」の種まき

協働まちづくり事業とは？

市民活動団体と行政とが、各自の役割分担や経費負担などを明確にしたうえで、地域課題の解決や市民ニーズの実現に取り組む事業です。

市民の皆さんが持っている経験や技術を生かしたアイデア、行政とは違った視点での取り組みを募集し、市民の皆さんと行政が協働してまちづくりに取り組みます。

総合計画に掲げた28施策に合致しているものをテーマとしています。

「協働」のこれまでの歩み

【平成18年3月】
市協働まちづくりに関する
指針の策定

NPO法人、ボランティア団体、自治会、企業などが互いの特徴を生かしながら、行政やほかの団体との協働を推進するための基本的な考え方や方向性、必要な施策などを示しました。

【平成18年5月】
市協働まちづくりセンター
「ふらっと」開設

市民活動団体の皆さんが活動・交流できる場「ふらっと」を開設しました。50を超える団体が登録し、各種まちづくりに向けた情報交換や施設管理を自主的に行っています。



委託事業

本来、行政が行うべき公共サービスを行行政が直接行うよりも、他の者に委託して実施することが効率的で、効果的と判断した事業です。

地域課題の解決を目的として設定されたテーマに対して、市民活動団体の柔軟な発想の事業提案により、採択された事業を委託します。
1 事業当たりの予算は、おおむね30〜50万円程度です。

在住外国人生活支援事業のための実態調査

NPO法人国際教育文化交流会

事業内容 市内在住外国人の生活実態把握のために「仕事と暮らし、保健・医療、教育、緊急時の対応、行政サービス施策への要望」などについて、実態調査を行います。

18歳以上の外国人市民約1,000人への郵送調査と訪問調査によって、誰もが尊重され住みやすい共生社会の実現のための施策立案に向け、外国人市民のニーズ集約に取り組みます。



捨て猫 捨て犬を無くし 美しいまちづくり事業

アニマルサポート・あい

事業内容 野良猫として捨てられる前の対策として、「猫の譲渡会」を開催します。ほかにも飼育マナーの向上を呼び掛けたり、犬の里親探しなどを行ったりして、人と動物が共存する美しいまちの実現を目指します。

<猫の譲渡会開催日>

袋井動物病院...毎月第2日曜日 午後1時~4時
協働まちづくりセンター「ふらっと」...10月20日(土)、11月17日(土)、平成20年2月16日(土)、3月15日(土) 午後1時~4時



障害のある方の自立と社会復帰を促進させるためのコーヒーショップ運営

NPO法人すずらの会

事業内容 障害のある方の自立と社会参加の促進のため、市役所1階ロビーに、社会復帰訓練施設となるコーヒーショップを設置しています。障害のある方とボランティアの方とが店員となり、香り豊かなコーヒーを販売しています。



営業日 月・水・金曜日(祝日・年末年始は除く)

営業時間 午前10時~午後2時

「協働」の実り

【平成19年6月】
採択された15事業が「新しい公共」としてスタートを切りました。

「協働」の芽生え・育成

【平成19年4月】
市協働まちづくり事業の公募委託事業、補助事業、連携事業のそれぞれを募集し、公開プレゼンテーションを経て、15の事業を採択・決定しました。
採択された15事業すべてに担当課を決め、提案された事業をより良いものにするため予算や開催内容を再度確認しました。

「協働」の水やり

【平成18年10月】
市協働まちづくりキックオフセミナー
市民と市職員とが協働で解決すべき地域の課題などについて、ワークショップ形式で協議しました。
【平成19年2・3月】
市協働まちづくりステップアップセミナー
総合計画の骨子を学んだり、市の現状について情報交換をしたりして、協働の可能性を探りました。